

# 手踊り



この踊りは古くから地域行事など、棒踊りと共に片野浦地区で継承されている。特に蛭子神社の祭りでは、毎年奉納の舞として欠かせないものである。

賑やかな頃は、踊り手に選ばれることは、非常に名誉なことで、祭りの華として注目された。

近年はコロナ禍で、披露する機会もなく、また後継者不足も深刻な問題となっている。

令和5年度は新しく2人の踊り手が加わり、発表に備え練習している。

## 【奉納・披露】

日程：毎年10月第2日曜日

場所：蛭子神社境内（下甌町片野浦）